

令和4年度第2回図書館協議会次第

日 時 令和5年2月28日（火）

午前10時30分から12時まで

場 所 君津市立中央図書館201会議室

1 開会

2 挨拶

3 委員長挨拶

4 議題

（1）報告 ①令和4年度図書館事業実施状況について

②清和図書コーナーについて

（2）協議 第四次君津市子ども読書活動推進計画について

5 閉会

(1) 報告 ①令和4年度図書館事業実施状況について

1 運営方針

図書館を市民の自主的な学習を支援する「知の拠点」とするため、来館者の読書環境整備や、利便性向上を図り、市民の課題解決を支援する。

2 事業目標と具体的業務

(1) 快適な読書環境の提供

中央図書館の空調設備の工事及び照明のLED化工事が終了し、1月17日から中央図書館を再開した。

(2) 図書館サービスの推進

・中央図書館の長期休館中においても、分室や移動図書館を開館するとともに、中央図書館等で臨時窓口を設置し、市民の必要とする資料を提供した。

・電子書籍サービスの新たなサービスとして電子雑誌の閲覧サービス（約100タイトル・バックナンバーのみ）を開始し、中央図書館再開後は電子雑誌の最新号も館内閲覧可能となった。

また、「あなたの読みたい電子書籍アンケート」を実施し、アンケート結果を反映させた新規購入によりコンテンツの充実を図った。公民館事業のスマホ講座や家庭教育学級と連携し、PRを行ったほか、休館中は臨時窓口に体験ブースを設置するなど、普及啓発を図った。

3 令和4年度 事業実施状況

事業名	主な内容
中央図書館 資料購入事業	中央図書館、移動図書館及び6分室の図書6,765冊、逐次刊行物（新聞26紙、雑誌165誌）を購入した。
中央図書館 資料貸出事業	移動図書館、6分室及び改修工事において休館する中央図書館に臨時窓口を開設し、一部サービス（資料の返却、予約資料の貸出等）を行なった。 ・令和4年2月1日～5月29日 中央図書館入口に臨時窓口を設置 ・令和4年5月31日～11月17日 生涯学習交流センター1階に窓口移転 ・令和4年11月18日～11月21日

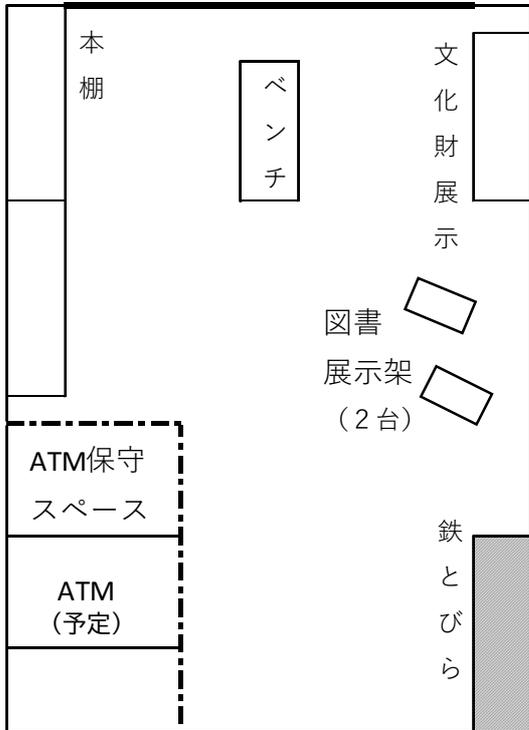
	<p>改修工事に伴う停電のため、臨時窓口と移動図書館は休館、各分室のみ開館</p> <p>・令和4年11月22日～令和5年1月8日</p> <p>中央図書館入口に窓口移転</p>
移動図書館の運行	<p>市内32か所に2週間に1度巡回し、貸出等のサービスを行なった。</p> <p>159日運行</p> <p>利用者延べ9,732人、貸出冊数29,162冊</p> <p>また、夏季休業中に巡回希望の学童保育施設へ巡回を行った。</p> <p>前期巡回 7月22日～8月2日</p> <p>後期巡回 8月19日～8月30日</p> <p>学童保育施9カ所 227人 貸出冊数923冊</p>
団体貸出	<p>保育園、幼稚園、学校等で授業や保育に必要な資料の団体貸し出しを行なった。</p>
中央図書館 読書推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・季節のおはなし会 夏のおはなし会10名、秋のおはなし会29名、冬のおはなし会34名 ・ミニミニブックリサイクル 11月3～6日（生涯学習交流センター） 提供数：53冊 ・読む福袋（一般向け）・絵本福袋（児童向け） 提供数：計356冊（一般150冊・児童206冊） ・公民館事業との協力で、ブックスタートボランティアによるおはなし会 計11回参加者91名、参加ボランティア8名 <p>その他、ボランティアの育成、大活字本・朗読CDの購入、保育園おはなし会など潜在的ニーズを含めた読書活動の推進を図った。</p>
中央図書館開館 20周年記念事業	<p>中央図書館の開館20周年記念事業として、令和5年1月から2月にかけて、事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 文芸講演会「高橋由太先生を迎えて」 ② 展示（「事業でみる図書館のあゆみ」、「みんなのすすめるこの一冊」、「20年の直木賞・芥川賞／文芸書ベストリーダー」） ③ 花王国際こども環境絵画コンクール入賞作品展示 ④ ゴミ削減エコクイズ ⑤ ミニミニブックリサイクル

	<p>⑥ 移動図書館ひまわり号特別展示・貸出</p> <p>※③④は花王グループカスタマーマーケティング株式会社（市の包括連携協定企業）による協賛事業</p>
<p>図書館「知の拠点化」推進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍サービス登録申し込み 493 名（累計 2,010 名）、ログイン延べ 5,789 回、コンテンツ貸出 2,313 点、閲覧 6,688 回、予約 472 件、電子雑誌 668 回の利用があった。 ・中央図書館の再開にあわせ、館内 w i - f i などの通信環境の整備、2 階自習室内に情報検索コーナー（オンラインデータベース及び千葉日報の閲覧）を設置した。
<p>中央図書館改修事業</p>	<p>開館時より使用していた空調に使用している冷媒ガスや管理システムが生産終了やサポート非対象となっていたこと、照明については今後生産終了が見込まれるものがあり、省エネ効果が期待できることから新しい空調設備及び LED 灯への更新を行った。</p> <p>令和 3 年 12 月 20 日着工 令和 5 年 1 月 6 日竣工</p> <p>工事期間中、窓口サービスは予約図書、取り置き図書の受け渡し等限定的なサービスとなったが、移動図書館ひまわり号については通常運行をした。</p> <p>工事の進捗により令和 5 年 1 月 10 日より 1 階フロアのみ開館。1 月 17 日より全フロア（会議室・自習室含む）の利用開始をした。</p>

令和 5 年 3 月から、映画観賞会を再開するほか、わらべうた、おひざにだっこの絵本の時間、おはなし会、ボランティア養成講座、ブックリサイクルフェアなどの集会事業は、新型コロナウイルス感染症等の状況にあわせ開催を検討する。

(1) 報告 ②清和図書コーナーについて

(窓)



- ・設置予定冊数 700冊程度
新刊本、地域資料、絵本を中心に配置します。

同じコーナー内に文化財の展示架が入ります。

3 施設レイアウトイメージ

館内図

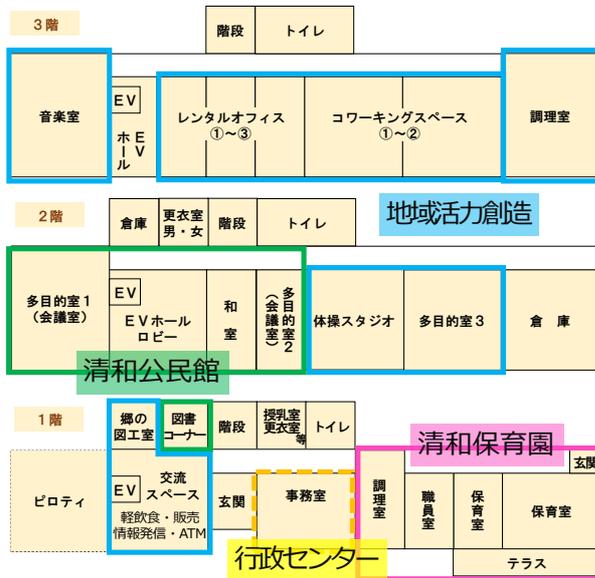
清和公民館 (2階・1階)
 ●多目的室1・2、和室、図書コーナー
 ●窓口は1階事務室に配置

清和保育園 (1階東側)
 ●保育室2、調理室、職員室、テラス
 ●保育園エリアは、一般利用者が誤って入ることの無いよう配置

行政センター (1階)
 ●窓口は1階事務室配置

地域活力創造 (1・2・3階)
 ●オフィススペース、音楽室、調理室、体操スタジオ、交流スペース

全体 ●エレベーターの設置



(資料提供 清和地区拠点整備推進室)

(2) 協議 第四次君津市子ども読書活動推進計画について

1 第三次計画における成果と課題

- 母子手帳アプリ「つみき」の活用など情報発信の工夫やブックスタート事業をはじめとした各種取組について感染対策を徹底しながら実施し、読書活動の推進を図ることができた。
- コロナ禍により変更・中止した取組があり、デジタル化による情報取得手段の多様化や読書バリアフリー法への対応なども併せ、社会情勢に応じた柔軟な取組が必要となっている。
- 子どもを取り巻く大人へのアプローチを継続的に行っていく必要がある。

2 君津市子どもの読書活動推進委員会における主なご意見

- ・ブックスタート事業の運営方法について、コロナ禍で絵本をランダムに配布する方法となっているが、絵本を選択できるようにするなど、現状に即したより良い運営方法を。
⇒【乳児期の柱となる取組①】
- ・乳児とのふれあい方、遊び方がわからないという方が多い。保護者向けに乳児とのふれあい方を伝える中におすすめ絵本の情報提供があると良い。
⇒【乳児期の柱となる取組③】
- ・子ども以上に大人へのアプローチが難しい。直接的なやりとりができる機会は限られているが、大人自身が絵本の楽しさや読書の大切さを感じられる取り組みを行っては。
⇒【幼児期の柱となる取組②】
【その他の取組①】
- ・第3次までにも様々な取り組みが行われているが、それを知らない人が多い。幅広く情報を発信することで普段図書館を利用しない方にもアプローチできるように様々な時代に即した発信手段を活用したPRを検討しては。
⇒【幼児期の柱となる取組③】
- ・授業参観などの機会をとおして、保護者に学校図書館を活用してもらう取組をしてはどうか。家庭でも本のことが話題にしてもらうきっかけになるのでは。
⇒【児童期の柱となる取組①】

[その他]

- ・感染症等対策を講じながらでもできる柔軟な取り組みを考える必要がある。

・タブレットの活用と本の活用の両立、バランスについて今後検討が必要。

※下線部意見については方針となる3つの柱に反映

3 第四次計画における主な改訂内容

○計画推進における3つの柱を下記のとおり見直した。

【第三次計画の3つの柱】

- ・君津市のすべての子どもたちへの支援
- ・年齢区分に応じた取組
- ・連携協力による取組の推進



【第四次計画の3つの柱】

- ・子どもたちと子どもたち周辺の大人への支援
(取組例：おすすめ絵本等の情報発信、読書関連講座等の開催など)
- ・発達段階に応じた取組
(乳児期、幼児期、児童期の発達段階別の取組)
- ・社会情勢に応じた柔軟な取組
(取組例：情報発信におけるSNS等の積極的な活用、障がいや多様な言語に配慮した蔵書の整備など)

○指標の目標値を第三次計画の取組状況に沿って下記のとおり見直した。

評価指標	第三次	第四次	変更理由
読書の好きな子どもの割合	小6 85% 中3 78%	小5 85% 中2 80%	・下期(12月)に調査できる学年に変更 ・中2の数値を県と同様の目標値に修正。小5は県目標値をすでに上回る状況もあるため独自に算定。
図書館関連ボランティアの活動実人数	平成29年度水準を維持	25名	・コロナ禍でボランティア活動が3年程実施困難となり、ボランティア数が大幅に減少。この現状下コロナ禍以前の水準維持が困難であり、現時点でのボランティア活動再開に必要な人数を算定し直したため。
学校団体貸出セットの利用回数	100回	65回	・第三次計画策定時と児童生徒数、学校数(28校→19校)の変化に伴うもの。

※その他の指標は第三次計画と同程度の目標値となっている。

4 スケジュール

- ・ 1月教育委員会議にて概要説明・素案提示
- ・ 1月社会教育委員会議にて報告・意見聴取
- ・ 2月教育委員会議にて意見聴取
- ・ 2月図書館協議会にて意見聴取
- ・ 3月教育委員会議 策定